

NSR Primer Set for human  
Code : NSR-101  
作成:2019年9月9日  
改訂:2021年4月1日  
整理番号:2565A



## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	NSR Primer Set for human
製品コード	NSR-101
供給者の会社名称	東洋紡株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオプロダクト営業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
推奨用途および使用上の制限	遺伝子解析用プライマー（研究用試薬）

### 2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響  
有害性

通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さいが、有害性に関する調査が不十分なので、取扱いには注意する。

GHS分類

分類できない

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物（水溶液）

化学特性

パーツ名

主要成分

CAS No.

<1st NSR Primer  
Mix for human>

トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタン  
デオキシリボ核酸

77-86-1

139-33-3

<2nd NSR Primer  
Mix for human>

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム  
トリス（ヒドロキシメチル）アミノメタン  
デオキシリボ核酸  
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム

-

77-86-1

139-33-3

-

### 4. 応急措置

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移し、気分が悪くなった場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水で十分洗い流す。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当てを受ける。

### 5. 火災時の措置

消火剤

水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤

特有の消火方法

消火は風上側から行う。

消火を行う者の保護

大規模な火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

眼、皮膚への接触、吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出しない。

除去方法

可能な限り、減圧で吸引したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、少量の回収できない分は大量の水で洗い流す。

NSR Primer Set for human  
Code : NSR-101  
作成:2019年9月9日  
改訂:2021年4月1日  
整理番号:2565A



## 安全データシート

### 7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い

技術的対策

取扱い時は適切な保護具を着用し、眼、皮膚、衣服に接触しないよう十分に注意する。

安全取扱い注意事項  
衛生対策

取扱い後は器具などを充分洗浄する。  
取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。  
取扱い後は手をよく洗う。

保管

適切な保管条件  
安全な容器包装材料

密閉容器にて-20℃で保管する。  
本製品に使用されている容器内で保管する。

### 8. 暴露防止及び保護措置 保護具

呼吸器の保護具

防じんマスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて保護衣等を着用する。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状

常温で液体、-20℃で固体。

色、臭い

無色、ほとんど無臭

pH

7.0~9.0

引火点

水溶液のため引火性はないと考えられる。

爆発特性

常温では爆発性はない。

密度

データなし

溶解性

水に可溶

NSR Primer Set for human  
Code : NSR-101  
作成:2019年9月9日  
改訂:2021年4月1日  
整理番号:2565A



## 安全データシート

10. 安定性及び反応性  
 安定性 -20℃以下で安定  
 反応性 通常の条件下では安定である。  
 避けるべき条件 高温、直射日光、火災などによる強熱、強酸化剤、還元剤  
 危険有害な分解生成物 知見なし
11. 有害性情報  
 急性毒性 具体的なデータはないが、急性毒性は低いと考える。  
 局所効果 同上
12. 環境影響情報  
 生態毒性 データなし。
- 残留性・分解性 生分解性である。  
 生体蓄積性 ないと考えられる。  
 土壤中の移動性 水溶性あり、水系に拡散する。
13. 廃棄上の注意  
 残余廃棄物 少量であればペーパータオルやウエスに吸収させて焼却処分する。その施  
 汚染容器・包装 その施設・地域の廃棄規則に準じて廃棄する。
14. 輸送上の注意  
 国際規制 国連勧告の定義上の危険物に該当しない。  
 国内規則 輸送に関する法規制には該当しない。  
 輸送の特定の安全対策及び条件 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう  
 積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。-20℃以下で保存し、輸送する。
15. 適用法令  
 輸送に関する法規制は、14.輸送上の注意の項参照。  
 法規定 なし
16. その他の情報  
 参考文献 厚生労働省 職場のあんぜんサイト  
 NITE:独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>
- 制約事項 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成してお  
 り、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常  
 の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・  
 用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供  
 を主目的とするものであって、保証するものではありません。